

行政視察 篠原一世議員

日時：平成29年7月5日(水)～7月7日(金)

場所：兵庫県明石市、兵庫県朝来市

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～明石駅	鉄道	往	722.9	10,480	5,810			16,290
明石駅～和田山駅	鉄道	往	101.1	1,940	1,920			3,860
和田山駅～佐野駅	鉄道	復	739.8	10,480	6,350			16,830
								0
								0
								0
								0
								0
								0
計				22,900	14,080	0	0	36,980

宿泊料@16,500×2泊 33,000 円

交通費 36,980 円

(うち航空運賃 0 円)

計 69,980 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 関口 一也



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

## 行政視察 篠原一世議員

日時：平成29年10月25日(水)～10月27日(金)

場所：佐賀県武雄市、長崎県壱岐市

区間	交通手段		鉄道賃		特急急行	飛行機	その他	計
			キロ	金額				
佐野駅～羽田空港国内線ターミナル駅	鉄道	往復	223.4	3,260	2,060			5,320
羽田空港～福岡空港	飛行機	往復	2,082.0			59,480		59,480
福岡空港駅～武雄温泉駅	鉄道	往	85.2	1,910				1,910
武雄温泉～西唐津駅	鉄道	往	64.4	1,290				1,290
西唐津駅～唐津フェリーターミナル	バス	往	2.1				210	210
唐津東港～印通寺港	フェリー	往	41.5				1,900	1,900
印通寺港～原の辻遺跡	バス	往	2.4				250	250
原の辻遺跡～郷ノ浦港	バス	復	10.9				750	750
郷ノ浦港～博多港	フェリー	復	74.1				1,980	1,980
博多ふ頭～博多駅	バス	復	4.2				230	230
博多駅～福岡空港	鉄道	復	3.3	260				260
計				6,720	2,060	59,480	5,320	73,580

宿泊料@16,500×2泊	33,000 円
交通費	73,580 円
(うち航空運賃)	59,480 円)
計	106,580 円

上記の金額は、佐野市職員等の旅費に関する条例及び佐野市職員等の旅費支給規則により算出した金額である。

議事課庶務係長 関口 一也



## 政友みらい 行政視察報告

平成29年7月5日(水)～7日(金)の日程で、①兵庫県明石市、②兵庫県朝来市への行政視察を実施致しましたので、ご報告致します。

参加者： 篠原一世 井川克彦 山菅直己 川嶋嘉一  
小暮博志 亀山春夫 慶野常夫

### 《視察日程・視察施設》

1日目、 7月5日(水) 15:00～16:30  
明石市役所 ・ 明石市立高齢者大学校について

2日目、 7月6日(木) 13:00～16:30  
朝来市役所 ・ 竹田城での山城サミット実施について  
竹田城跡 ・ 竹田城跡の視察

### 《1日目……明石市立高齢者大学校》

明石市議会事務局の西海次長兼総務課長から、歓迎のご挨拶をいただき次に高齢者学習支援担当係長の今田様と市民協働推進室の岩崎室長から、明石市立高齢者大学校あかねが丘学園の概要の説明を受けた後に、学園紹介DVD鑑賞と事前に送付しておいた質問事項の回答を受けました。

#### …質問事項…

- ① この学校は、いつ・どのような目的で開校したのか
- ② 何歳から入学できるのか
- ③ 生徒は何人なのか
- ④ どのような学習機会があるのか
- ⑤ 費用はどのくらいかかるのか
- ⑥ 講師の先生は、どのような立場の人がおこなっているのか
- ⑦ 明石市として、学校開校に対し苦労した事、また良かった事



上記項目に対し、資料を作成していただき、解りやすく説明を受けました。

■ 現在は生涯学習センターへ完全移転していますが、開校当初は廃校利用していたそうです、佐野市としても、適正規模に満たない小・中学校の適正規模化で廃校となっている所があるので廃校再利用としても良いモデルとなり、また高齢者が元気になり地域貢献の機会も増え地域活性化にも繋がりますので、佐野市としても良いところはこれを参考にし、今後の活動に活かして行きたいと思えます。

明石市は、業者がマンション建設を進めている為、若い人達が増え人口が増加しているとの事です、佐野市としても、いろんな施策を考え提案し、若者が集まり定住し、そして結婚しこどもが増え、人口減少に歯止めをかけられるように活動していきたいと思えます。

この学園を卒業した生徒 3,654人が市内で84のグループを作り活躍しており、これらの卒業生達が地域の子供達の安全を見守っているとの事です、佐野市としても参考にし未来ある大切なこどもたちを地域全体で育てられるようにしたいと思います。

《2日目……竹田城での山城サミット実施について》

朝来市議会の山本議長から、歓迎のご挨拶と朝来市についての概要を受けました。  
次に、朝来市産業振興部観光交流課の松原指導員様から、竹田城についての雑学と  
事前に送付しておいた質問事項の回答を受けました。



……質問事項……

- ① 佐野市に於いて、今年の11/25・26日に、『全国山城サミットin佐野』が開催されますが、朝来市の竹田城を活かしたまちづくりへの展開で有名になってしまったゆえの日頃のご苦労や市民生活への影響など、お伺いしたい。
- ② 第20回全国山城サミットin朝来大会が開かれましたが、開催準備でご苦労した点、ありましたら教えてください。また、山城サミット開催したことによって変わった点をお伺いしたい。
- ③ 竹田城跡は、車椅子での見学は出来ますか、車椅子やご高齢の方が見学出来ない場合これらの改善として、貴市が考えていることがありましたらお伺いしたい。
- ④ 今までに要した調査費用はいくら位なのか、お伺いしたい。
- ⑤ 観光資源としての、調査開発計画はありますか、あったらお伺いしたい。
- ⑥ 来訪者の推移・経済効果はどの位なのか、お伺いしたい。

上記項目に対し、資料を作成していただき、解りやすく説明を受けました。

- 以前はあまり知られていなかったこの竹田城跡ですが、きっかけは、平成18年の日本100名城であり、それから『雲海に浮かぶ竹田城跡の新聞掲載』・『GoogleのCM』・『缶コーヒーポスのCM』等で一躍有名になり多くの観光客が来るようになったそうです。

朝来市としては、観光資源として、まちなみ環境整備事業・道路美装化・案内看板等で7.4億円(H17～H32)の予算をとっているそうです。

竹田城跡の入場者数は、下表1の如く急増したため、住民の生活にも影響を及ぼし、交通整理や駐車場の対応に苦労したとのことであった。

又、石垣等の修理は76百万円ほどかけており、国が1/2、県が1/4、市が1/4で進められてきたとのことであった。今後とも、保全管理が大変とのことであった。

この様な管理費の確保も今後の重要な課題であることを知りました。

市長も武將の仮装をしてパネルディスカッションに足を運び、サミット参加に向けて大変頑張ったとの事です。

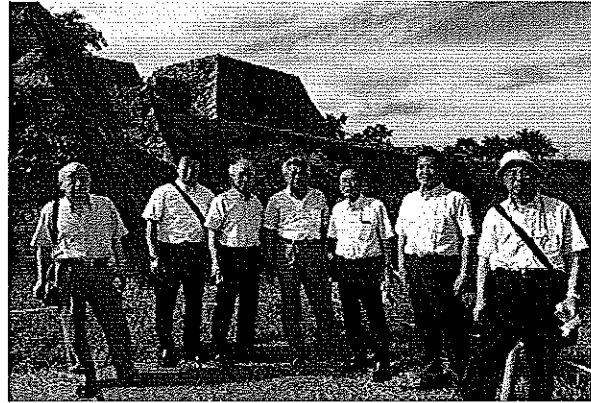
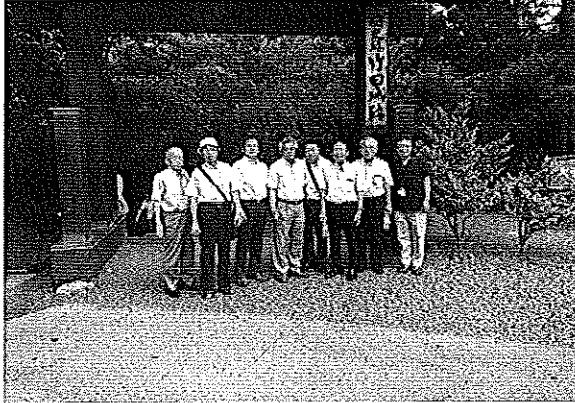
その後、朝来市役所の車で、竹田城跡に移動しました。

竹田城跡の現地視察

現地では、ボランティアガイドの上山さんに案内をしていただきました。

表1 竹田城跡入込者数 (平成25年より、カウンターで計測)

20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
20,000	35,000	52,000	98,602	237,638	507,589	582,282	416,008	324,715



- 朝来市役所から約20分車で移動し、竹田城跡の駐車場に着き、それから、約800m 勾配のきつい山道を歩き、竹田城跡に到着し視察を行いました。

多くの観光客が訪れ歩くことで、土が削れる・草が生えなくなる、といった影響で城跡全体の保水力が落ち、石垣にも崩落の危険性があり史跡としての現状を保てなくなる危険性があるとのお話を聞きしどう残し伝えていくのか、との問題解決も考えていく必要性もあると思います。

竹田城跡保護活動のように、今後の佐野市唐沢山城跡の保護活動等への計画的な予算付けの参考としたいと思います。

朝来市産業振興部観光交流課の松原指導員様から、山城サミット開催時に、その他のパフォーマンスとして、物産交流(地元特産物の販売等)のアドバイスを受け、佐野市の特産品(佐野ラーメン・イモフライ・とちおとめ・梨や桃など、)の販売をして佐野ブランドPRも実施し、サミットが有意義になるように佐野市に提案したいと思います。

今回勉強させていただいた経験を、今年開催される『全国山城サミットin佐野』が大成功になるように今後の活動に活かしていきたいと思っています。

## 政友みらい 行政視察報告

平成29年10月25日(水)～27日(金)の日程で、①佐賀県武雄市、②長崎県壱岐市への行政視察を実施致しましたので、ご報告致します。

参加者： 篠原一世 井川克彦 山菅直己 川嶋嘉一  
小暮博志 亀山春夫 慶野常夫

### 〈視察日程・視察施設〉

1日目、 10月25日(水) 13:00～14:30  
武雄市役所 ・ 婚活サポート事業について  
2日目、 10月26日(木) 14:00～16:00  
壱岐フリーウィルスタジオ ・ 壱岐市観光振興計画について

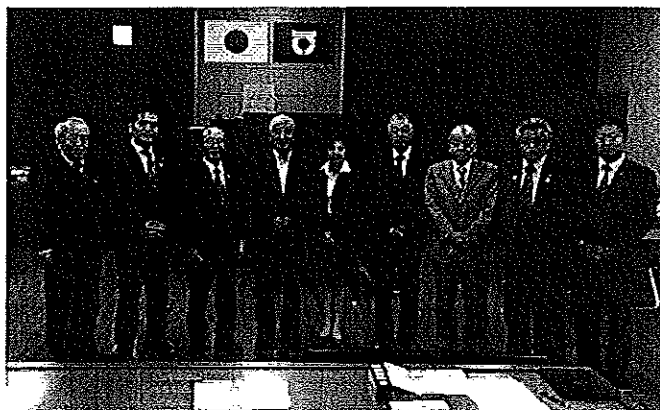
### 〈1日目……武雄市役所・婚活サポート事業について〉

武雄市議会事務局の末藤局長から、歓迎のご挨拶をいただき、次に企画部 お結び課の古川課長と草津係長から、お結び課についての概要と、事前にお知らせしていた質問事項の回答を受けました。

#### …質問事項…

- ① お結び課の出来た、きっかけは？
- ② お結び課の構成人数は？ また、勤務時間は？
- ③ ご縁結び(1対1のお見合い)、ご紹介は、どのような手順で行うのか？
- ④ 婚活イベントの開催は、年何回位行うのか？
- ⑤ 結婚や婚活に関するご相談は、どのような相談があるのか？
- ⑥ 今まで、何組のカップルが結ばれましたか？ また、平均年齢は？
- ⑦ 出生率は上がりましたか？
- ⑧ 今までに、やっていた一番嬉しかったこと・辛かったことは？
- ⑨ 日頃、心がけをしていることはありますか？
- ⑩ お結び課の予算は、いくらくらいですか？

上記項目に対し、資料を作成していただき、解りやすく説明を受けました。



### 所感

■ お結び課の設立経緯は、平成22年9月1日から前市長が選挙運動で市内を回っている時に独身者が多いことを実感し、その親御さんから婚活を頼まれることも多かったことを受け設置したそうです。この設置にあたり、課長については民間の人をお願いしたいとのことで公募し、審査の結果、現在の古川課長が選任されたとのことで、歳は74歳(7年目)とのことです。前市長の奇抜な発想について感心しました。

職員は3人(課長・係長・事務員)とお結び推進員若干名で行っており、主に1対1のお見合いで、古川課長同席のもと3人で喫茶店で会うそうです。会う前には男性を早めに呼んで古川課長から女性の扱いについてのアドバイスしているとのことで、大変ご苦労されているのが分かりました。

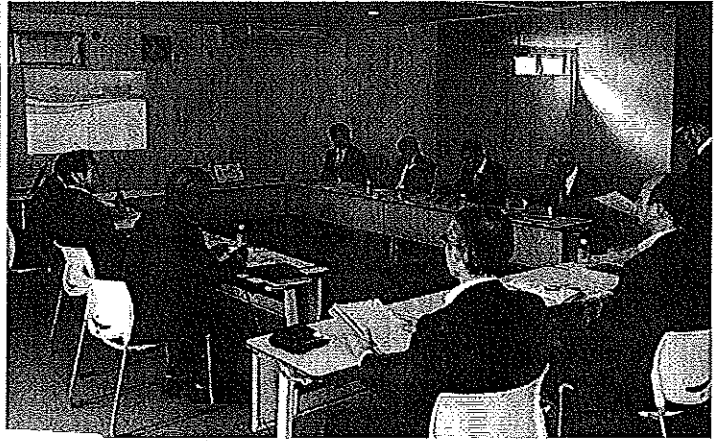
登録は無料で、登録年齢は平均43.6歳(男性:45.9歳 女性:41.3歳)と高齢化している現状が分かりました。マッチングしている草津係長は、「親身になるけど、深刻にならない」を常に心がけているとのことで、また個人情報取り扱いに注意しているそうで、とても神経を使う仕事であると思いました。

お見合いの際には、良い所を見つけて褒めてやり、その後に気になったところを教えるようにしており、帰りには笑顔で返すように心がけているが、とても難しいとのことでした。

佐野市では、商工会議所や青年部が協力しお見合いパーティを開催していますが、武雄市のように行政が1対1のお見合いをし、昔のお節介なお年寄りがお見合いを紹介しているようでとても素晴らしいことと思いました。今回勉強した内容を持ち帰り、佐野市で結婚・出産・子育てをしてもらえるような魅力ある市政作りに邁進していきたいと思いました。

《2日目……彦岐フリーウィルスタジオ ・ 彦岐市観光振興計画について》

彦岐市議会の豊坂副議長から歓迎のご挨拶をいただき、次に彦岐市役所の企画振興部 地域振興推進課の本田課長より、彦岐テレワークセンターについての概要を受けました。次に、事前に送付しておいた質問事項の回答を受けました。



…質問事項…

- ① 総人口 26,325人[推計人口、2017年8月1日]となっておりますが、年代別の人口は？
- ② 漁業が盛んでありますが、イカ業やブリやマグロ業また真珠養殖にといった漁業人数は何人位ですか？
- ③ 農業も盛んであり、稲作・古代米(赤米)など生産している農家の人は何人位ですか？
- ④ 大手メーカーの工場がありませんが、今後大工場を誘致する計画はありますか？
- ⑤ 建設業から他業種に転職する方々が増えていますが、どのような職種に移っていますか？
- ⑥ 彦岐に感動し楽しむ・こだわり交流体験プロジェクトは簡単に言うとどのような内容なのですか？
- ⑦ 彦岐を食す・こだわりグルメプロジェクトは簡単に言うとどのような内容なのですか？
- ⑧ 彦岐は快適・おもてなしプロジェクトは簡単に言うとどのような内容なのですか？
- ⑨ 彦岐を売り込む・誘致戦略プロジェクトは簡単に言うとどのような内容なのですか？
- ⑩ 宿泊施設の老朽化が進んでいますが、耐震対策はどのように行っていますか？

上記項目に対し、資料を作成していただき、解りやすく説明を受けました。

所感

■ 彦岐市は平成27年10月、富士ゼロックスと地域創生連携協定を締結し、離島の活性化モデルを目指す「彦岐市みらい創りプロジェクト」がスタートしたとのことで、民間企業とのwin-winが出来た事はとてもよかったと思いました。

このプロジェクトのテーマ作りとして、多くの市民が集まりその中で対話(みらい創り対話会)をし、テーマ・活動経緯・現状・結果などを決め、今回の会場も「彦岐の空き家で民泊」のテーマのもと、遊休施設を活用した彦岐テレワークセンターを開設したことを聞き、佐野市での空き家対策のヒントになると思いました。

彦岐テレワークセンター内に、島内産業保護、障がい者雇用の観点から、CADセンターの開校を予定しているとのことで、障がい者への3D CADシステムの入力トレーニングを行うなど、障がい者の雇用拡大も図ろうとしており大変素晴らしい取り組みであると思いました。

佐野市でもリーディングプロジェクトである「観光立市」を掲げており、「さのまる」「佐野ラーメン」「佐野プレミアム・アウトレット」などで、昨年は870万人を超える多くのお客様にお越しいただいていますが、街中までには集客できていないのが現状であり、今回勉強させていただいたことをヒントにして、多くの方に街中まで来ていただき「訪ねて良かった、また来よう」と実感していただけるような、街つくりの為に活かしていきたいと思いました。